

## 令和3年度氷見市行政改革推進市民懇話会会議録

- 1 開催期日 令和4年2月25日(金)
- 2 開催場所 市役所A棟2階全員協議会室
- 3 会議時間 午後1時～午後2時30分
- 4 出席委員 伊藤宣良、大島充、高木陽子、七分由紀雄(高嶋達 代理)、寺下利宏、日詰聰、松原勝久、加野陽子、西寛志、向井久尚(山口尚克 代理)、田中英雄 計11名
- 5 欠席委員 三ノ宮一貴、西森正憲、森本太郎、大石宏生、金嶋修、西川扇博、吉田博昭
- 6 市出席者 林正之(市長)、篠田伸二(副市長)、鎌仲徹也(教育長)、藤澤一興(政策統括監)、東軒宏彰(企画政策部長)、森田博之(総務部長)、森川浩延(産業振興部長)、釣賀勝行(建設部長)、新井和浩(市民部長)、高田かつえ(会計管理者)、石田貢一(防災・危機管理監)、泉澤千秋(教育次長)、高野弘文(地方創生推進課長)、出戸勝教(財務課長)、中尾美栄子(総務課長)ほか
- 7 案 件
  - (1) 配布資料の説明  
氷見市行政改革プラン(案)(令和4年度～令和8年度)
  - (2) 質疑応答、意見交換
- 8 発言内容 別紙のとおり

## 発 言 内 容

中尾総務課長 定刻となりましたので、これから氷見市行政改革推進市民懇話会を始めたいと思います。会長には進行をお願いいたします。

大嶋会長 皆さん、本日はどうもご苦勞様です。  
ただいまから、令和3年度第2回氷見市行政改革推進市民懇話会を開催いたします。委員の皆様にはご多用のところご出席賜り、誠にありがとうございます。

本日は第1回会議で示された、新たな氷見市行政改革プラン基本方針に具体的な取り組みと数値目標を加えた氷見市行政改革プラン（令和4年度～令和8年度）（案）を協議していただきます。

会議は2時間程度を予定しております。皆さんの貴重なご意見、ご助言を賜りたいと思っております。

なお、本日出席を予定しておりました氷見市行政改革アドバイザーの名城大学都市情報学部教授の昇秀樹先生につきましては、大学の所要より欠席というご報告がありました。

先生には本プラン（案）につきまして、事前にご確認にいただき、了承していただいておりますことをご報告申し上げます。

それでは最初に、林市長からご挨拶をいただきます。

林市長 令和3年度第2回氷見市行政改革推進市民懇話会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には大変お忙しい中、またお寒い中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

また日頃より氷見市政の推進にあたりまして、ご理解とご協力を賜り、改めてお礼を申し上げます。

今年に入りまして新型コロナウイルスのオミクロン株による第6波が全国的に広がっており、氷見市でもここ数日、10人を超える感染者がでている状況です。

今後も感染状況を的確に捉えまして、感染防止に取り組むとともに、コロナ後の経済回復および好循環のために、必要な政策を推進していく必要があると考えております。

皆様におかれましても、引き続き感染防止や第3回目のワクチン接種にご協力をいただきますよう、よろしく願いをいたします。

さて、本日は氷見市行政改革プランにつきまして審議をしていただく予定としております。このプランの柱には財政の収支均衡を維持するための持続可能な行財政運営、またアフターコロナの時代に向けたデジタル化を中心とする、効率的・効果的な行政サービスの推進の二つを掲げております。

委員の皆様におかれましては各分野、様々な知見からのご意見を賜りたいと思っております。

結びに、本日ご出席の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いをいたします。

大嶋会長

ありがとうございました。それでは、協議案件に入りたいと思いますが、本日の議事録につきましてはこれまでの会議と同じく、発言の要点を、委員名を伏せて公表したいと思っておりますので、ご了承お願いいたします。

議事録の作成および公表に関する事務処理につきましては、事務局の方でお願いしたいと思います。

それでは、議事資料を一括して事務局に説明をお願いいたします。

中尾総務課長

【資料】「氷見市行政改革プラン（令和4年度～令和8年度）（案）」の改革の概要について説明

大嶋会長

ありがとうございました。

資料に基づき説明をいただいたわけですが、ご意見、ご質問、ご提言等がございましたら、お伺いしたいと思います。

委員

プランにつきましては、よく考えられていると思いますし、考え方としても今の時代に合っていると思います。中長期財政見通しについても、

毎年見直しながら検討していくということでもありますので、今の段階で出せる数字としてはこれでよいと思います。

一つ質問というかお願いですが、水道事業についてであります。先般、基幹管路の漏水事故がありました。非常に人口も減少しており、管の修理や取り替えも含めて、今の水道料金の収入では、経営が厳しいのではないかと感じておりました。

そんな折に、県西部4市の受水負担見直しの報道がありました。軽減額は4市全体で1億2千万円ですので、単純に計算すると1市3千万円となります。氷見市の場合は、もっと膨らむかもしれません。

水道事業にとって、これがどのくらいのインパクトがあるかというのはわかりませんが、そうなった場合に、一般会計からの繰り出しを減少させるのか、修繕や取り替え工事を加速させるのか、水道料金そのものに関わってくるのか、いずれにしても良いことであると思います。

個人的には水道料金に反映するというのが非常にありがたいことですが、最初に申し上げましたように、事業として長くしっかりと継続してほしいと思います。

また、そういった説明を市民に向けて行っていただき、プランに反映していただければありがたいと思います。

林市長

大変大きな問題でございますので、私の方で答えさせていただきます。

市長就任以来、氷見市の水道料金が県内で一番高いということで、これまで他の受給団体とともに、県の企業局と交渉をしてきたところでございます。

今回、県の企業局におきまして、県議会に料金の値下げにつきまして、条例改正の提案をしていただきましたことを大変ありがたく思っております。

まずは、県議会で議論されて、ぜひ可決をしていただきたいと思います。また、可決後、どう活用していくかということにつきましては、先ほどの委員ご指摘のとおり、持続可能な公営企業ということを考えていく必要があります。

現在、耐用年数が40年を超える管路が非常に多くあります。市内の水道管の総延長は459kmあり、そのうち耐用年数を超える管路が10%を超えております。中でも直径400mmを超える基幹管路は27kmありますが、法定耐用年数を超えているのは、約15kmで55%を超えております。来年度からそういった基幹管路の更新もあり、費用もかかるという中で、料金の値下げができるかどうかは、全体の金額を見ながら検討していくということになると考えております。

大嶋会長            ありがとうございます。

委員                行革で一番大切なのは、最小の予算で最大の効果を出すということであると思っております。

アウトソーシングについての記載がありますが、現在どれくらい進んでいるのかということと、市の公式 SNS 登録数2万5千人というふうになっておりますが、現状の数字を教えてくださいたいと思います。

その他、6ページの市税収納率の向上とありますが、目標値は99.0%以上となっておりますが、現状はどのくらいなのか教えてくださいたい。

中尾総務課長      アウトソーシングについての件数というのは把握しておりませんが、民間活力の利用ということであれば、例えば、様々な施設について指定管理者制度の導入を行っているところです。

市の公式 SNS 登録数については、令和4年2月9日の時点で LINE, FaceBook, Instagram, YouTube で9, 815件でございます。

収納率につきましては、元年度は99.1%で、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もございまして97.6%となっております。

今後につきましては、経済状況も上向きになっており、収納率も前年度よりよい数字が出ておりますので、99.0%以上を目指すということで目標設定をしております。

委員

中長期財政見通しでは、財政調整基金残高がまだ17億円ほど残りますし、減債基金も9億円、特定目的基金残高も10億円あります。

一方、市債は発行額が11億円減っておりますし、市債残高も44億円減っており、頑張っておられる印象です。

改革の概要の中で、番号3番に起業・創業、継業の促進とあり、目標が毎年12件となっています。この目標自体はよいと思いますが、問題は10年後の氷見市にある企業の総数はどうなっているかということです。会社の他に個人事業もありますし、協同組合や一般社団法人もあります。あるいは法人格のない社団、NPO、自助努力するための組織も含めて様々な組織があります。

そういった組織も含めて、大枠として企業の総数はどうなのか見ていく必要もあると思います。

氷見市の中から新しい時代に活躍する人を育てるという意味も含めて、組織の数と10年後の目標を出していただく必要があるかと思いません。

もう1点は人口ですが、中長期財政見通しの中では、令和12年の推計を36,551人としております。問題は内訳ですが、例えば1歳から5歳、小学生、中学生、高校生の世代、あるいは高齢者がどれくらいだとか、そういう区分を示して、10年後の氷見市の形はこうだ、地域はこうなっているとイメージしやすくしてほしいと思いました。

大嶋会長

企業の総数について説明をお願いします。

森田総務部長

申し訳ございません。今は数字がありませんので、今後お示しできるよう検討いたします。

委員

改革の柱Ⅱ(3)の「民間活力の活用による事業の推進」の②「指定管理者制度の活用」ですが、「当初の趣旨が希薄にならないよう定期的なモニタリング機能の導入を図りながら」という部分を大事にしていきたいと思っています。

例えば、海浜植物園の指定管理者が変わって大変便利になった点もありますが、本来の機能が失われている面もあって少し残念に思っております。

以前、植物のことに精通していた職員が、現在は植物園に関わっておられないという話を聞きまして、前の良かった点が失われて残念に感じました。

大嶋会長           海浜植物園の本来の機能が薄れているとの指摘についてお願いします。

釣賀建設部長      海浜植物園については、今ほどのお話にありましたように、四半期ごとにモニタリングを実施しております。その中で、来園者の方へのアンケートも実施しており、そのアンケートに対してどういうふうに答えていくかということも行っております。

その中で、「海浜植物園とあるが植物が少ない」、「植物に対しての案内が不足しているのではないか」という意見があったところでございます。

これに対しては、今の指定管理者の元で、植物を増やす、あるいは植物の案内を増やす取り組みを行っているところでございます。

新年度には、今より充実した植物の配置、植物の案内ができる予定としております。

委員                番号17の目標値が年休10日以上となっておりますが、昨年度の実績はわかりますか。

中尾総務課長      昨年、令和2年の実績は8.9日です。

委員                年間の付与数が20日であれば、8.9日は少ない気がします。

ただ、実績からすると目標値は妥当かと思いますが、一般的には10日以上という目標は低いように感じます。

今は、目標として10日でよいと思いますが、目標を達成したら、さらにそれ以上を目指して取り組んでください。

中尾総務課長 委員ご指摘のとおり、取得日数の増加に取り組み、目標の見直しについても検討してまいりたいと思います。

委員 5ページの財政の見通しで、市税収入が令和2年度から3年度で、4億円ほど下がっている要因を教えてください。また、人件費も令和2年度から3年度で3億円ほど下がっている要因を教えてください。

出戸財務課長 まず市税につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響によるものであります。国が減免制度を設けたことに加え、様々な影響により収入減になったものであります。ただ、この減免制度に対しまして、国は地方自治体に交付金という形で手当てをしておりますので、財政的には満たされているものでございます。

人件費につきましては、大きく減った要因として、消防の広域化があります。高岡消防へ事務委託した関係で、人件費から他の費目が変わったものでございます。

委員 様々な目標に数値が入っていますが、4年間という計画で見ますと1年単位で目標を立て、達成できればまたさらに良い数値目標を立てた方が、より氷見市の暮らしも良くなるのかなと思います。年休の目標については、毎年、目標数値を伸ばしていただければ、仕事と生活のバランスがもっと良くなると思いますので、どんどん改善していただきたいと思います。

委員 7ページの農業集落排水施設白川処理場のことですが、もう40年ほど経つと思いますが、集落に下水道をいれてもらって本当によかったと思っております。これを古くなったから宇波地区との接続でとい

うことになっているのか、さらに一本化することでどれくらい経費が安くなるのか教えていただきたいと思います。

釣賀建設部長　　今、経費幾らというデータは持ち合わせていませんが、概要をご説明いたします。白川地区の下水処理場につきましては、更新を選択するかあるいは公共へ接続するか、将来的な維持管理費も含め、公共の方に接続する方を選択いたしました。

委員　　これまでは市当局の努力により、職員数は類似団体に比べても少なく、削減が達成されてきたと思います。通常、同じ仕事を毎年するのであれば、人数が少なくなった分、時間外が増えると思います。加えて、社会情勢や新たな市民ニーズの発生、あるいは災害等、様々な要素が絡まり、時間外が増えるということは当然想定されますので、時間外勤務時間数を削減するというのは非常に難しいことだと思っております。

そこでお尋ねします。時間外勤務時間数の部署による差があるのかどうかと、その要因についてお聞かせください。

もう一点ですが、民間では高年齢者の雇用については70歳までが努力義務化、高年齢者の雇用確保が70歳までということで努力義務化されておりますが、市の方では定年が65歳になってから、それ以降については再任用という形で同じように70歳までの雇用を考えておられるのかどうかお尋ねいたします。

中尾総務課長　　昨年度よりパソコンの使用時間数は減少しておりますが、時間外勤務時間数につきましては少し増加しております。

今年度につきましては、健康課で新型コロナウイルスのワクチン接種関係の業務量が急増し、職員を増員する等対応してまいりましたが、時間外は増加いたしました。

業務量の増加が見込まれる部署については、その都度、人員配置等を見直し、負担の軽減を図っております。

もう一つの、70歳までの高年齢者の雇用についてですが、定年延長制度が令和5年度から段階的に実施されます。ただ、65歳以降の再任

用というところまでは国は示しておりませんので、国の動向を見据えてということになると思います。

委員

資料を読ませていただきましたが、基本には人口減少、そして高齢化があるということだと思います。

私が預かる組織も人口減少や少子高齢化の中で、どう改革するかを考えております。

地域に多くの拠点を持っておりますので、中には法定耐用年数を超えているため、大規模な投資計画が必要な建物もあり、今度の総会に組織再編を提案する予定としております。

その際に、3年あるいは5年後の見通しを示しますが、行政においても5年、10年後を見通すプランを作り、市の幹部職員がある程度認識を一致させて取り組むことが大切だと痛切に感じております。

さらに、組織再編や改革を行うときには、職員の皆さんに、なぜこれをやらないといけないのかという事を明確に示すことが重要であると考えております。

私自身も、そういうことを整理して伝えているところです。

市においても、このような政策を実現するために、やり遂げるという姿勢をしっかりと示すことが大切だと思います。

大嶋会長

みなさんの貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。これを今後の実施段階の参考にしていただければと思います。

それでは、本日の案件は全て終了いたしましたので事務局に進行をお渡しいたします。

中尾総務課長

会長、副会長ありがとうございます。

それでは閉会にあたりまして、市長から一言、ご挨拶を申し上げます。

林市長

本日は皆様から、貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございました。

皆様からいただいた様々なご意見を、今回の行政改革プランにまとめたところでございます。まだまだ足りないところがあるかと思えますけれども、しっかりとこのプランを今後5年間にわたり進めてまいりたいと思います。

また、令和4年度は第9次氷見市総合計画もスタートいたしますので、総合計画の前期5ヵ年の行政改革プランという位置づけで進めてまいりたいと思います。

今日の資料で示しましたとおり、人口減やコロナという中で、令和3年度の市税の落ち込みは、令和2年度の51億円から4億円減の47億円と見込んでおります。

また、世界情勢も緊迫しておりまして、ウクライナ情勢により、今後の企業業績も懸念されます。時代、時代をしっかりと見極めながら、行財政改革を進めていかなければならないと思っております。

私が市長になりましてから、様々な施設の整備を進めてまいりましたが、特に大きかったのは学校給食センターでございます。約15億円の事業です。

また、芸術文化館は備品などを含めると50億円の事業でございます。

こうした大型事業を進めますと、市民の皆さんからは財政状況を心配する声をいただきます。ただ、今回の中長期財政見通しでは、10年後の財政調整基金残高が17億円と見込んでおり、標準財政規模の1割にあたる12億円を上回る額を確保できる見込みであります。

また、学校給食センターにつきましては、なるべく有利な財源を活用して整備を進めておりまして、15億円のうちの約2億円は国の補助金、残り13億円は過疎債ですので、その3割にあたる3億9千万円を氷見市が返還しなければなりませんので、昨年の12月議会で、前年度の余剰金等を減債基金に積み増しし、今後の返済に充てるという手当を行っております。

芸術文化館につきましても、50億円のうち、国の補助金で約15億円、残り35億円の3割にあたる約10億円を氷見市が返すこととなりますが、これまでも教育文化振興基金に積み増しをしておりまして、今

年度の当初で約12億円ありますので、将来の返還の財源に充てたいと思っております。

このように、大きな事業につきましてはしっかりと財源の見通しを立てて整備を進めております。

今回策定した行政改革プランに基づき、持続可能な市政運営を行い、市民の皆様からお預かりした税金を有効に活用し、市民の皆様の幸せの向上に努力をしてみたいと思っております。

委員の皆様方には本当に熱心に議論をしていただきまして、誠にありがとうございました。

心からお礼申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

中尾総務課長 本日皆様からご意見をいただきました行政改革プランですが、今後3月定例会の全員協議会で説明いたしまして、その後公表することとしております。

本日は長時間どうもありがとうございました。